

JFEの防災商品



」透過型(スリット)堰堤
土石流や流木を捕捉します



」不透過型堰堤
中詰めに現場土砂を活用できる合理的な堰堤です



」籠工
溶接金網を用いた籠枠工法です。



」落石防護
設置条件に合わせた商品ラインナップをご用意しております



」津波対策
本カタログです

JFE 建材 株式会社 www.jfe-kenzai.co.jp

本 社	〒108-0075 東京都港区港南1-2-70 品川シーズンテラス		
	防災商品 (土石流・流木対策、落石防護、他)	▶ 防災商品営業部	TEL.03(5715)7640 FAX.03(5715)1035
	技術的なお問合せは.....	▶ 防災技術部	TEL.03(5715)7870 TEL.03(5715)1035
北海道支店	〒060-0806 札幌市北区北六条西1-4-2 ファーストプラザビル	TEL.011(708)6411	FAX.011(728)4675
東北支店	〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-1-25 東二番丁スクエア	TEL.022(266)3070	FAX.022(223)3060
新潟支店	〒950-0087 新潟市中央区東大通1-2-23 北陸ビル	TEL.025(246)3233	FAX.025(246)3255
名古屋支店	〒460-0003 名古屋市中区錦1-7-19 名古屋岡本ビル	TEL.052(204)5707	FAX.052(204)1611
北陸支店	〒930-0007 富山県富山市宝町1-3-10 明治安田生命富山ビル	TEL.076(441)1462	FAX.076(432)2384
大阪支店	〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-9-1 肥後橋センタービル	TEL.06(6444)7631	FAX.06(6444)7633
中国支店	〒730-0036 広島市中区袋町4-21 広島フコク生命ビル	TEL.082(248)7303	FAX.082(248)3141
四国支店	〒760-0019 高松市サンポート2-1 高松シンボルタワー	TEL.087(821)5548	FAX.087(821)5540
九州支店	〒812-0025 福岡市博多区店屋町1-35 博多三井ビルディング2号館	TEL.092(263)1561	FAX.092(263)1475
青森営業所	〒030-0862 青森市古川 2-20-6 AQUA 古川2丁目ビル	TEL.017(776)5325	FAX.017(777)1396
北東北営業所	〒020-0034 盛岡市盛岡駅前通15-19 盛岡フコク生命ビル	TEL.019(629)2250	FAX.019(651)8780
沖縄営業所	〒900-0015 那覇市久茂地3-21-1 國場ビル	TEL.098(860)5161	FAX.092(263)1475

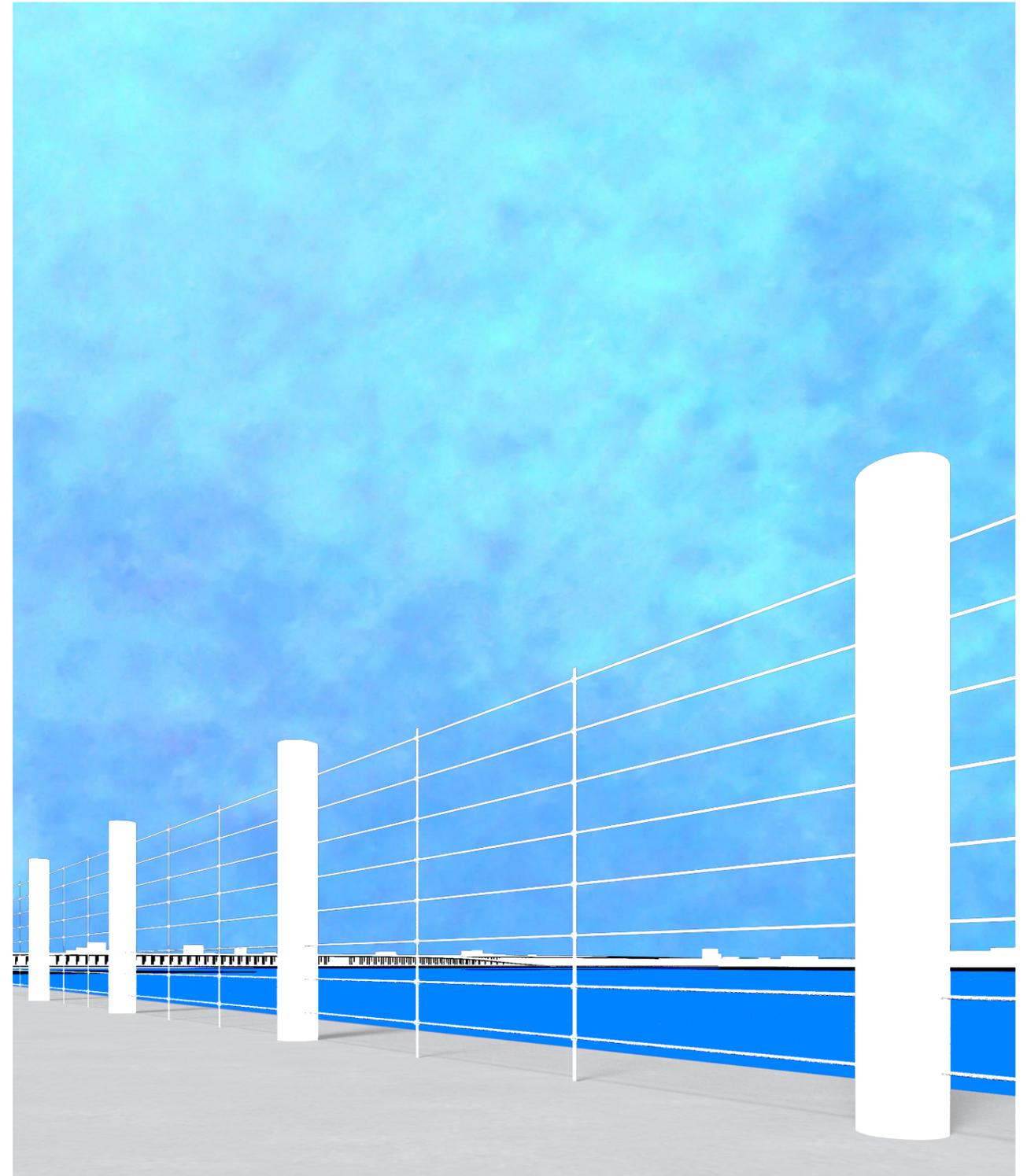
高潮・津波バリアー研究会 www.coastal-barrier.jp

事務局・ご相談窓口	JFE建材株式会社(防災商品営業部内)		
〒108-0075 東京都港区港南1-2-70 品川シーズンテラス		TEL.03(5715)7640	FAX.03(5715)1035



JFE建材の防災商品

津波バリアー



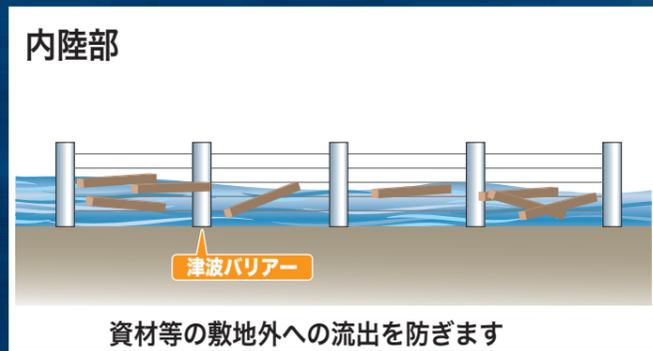
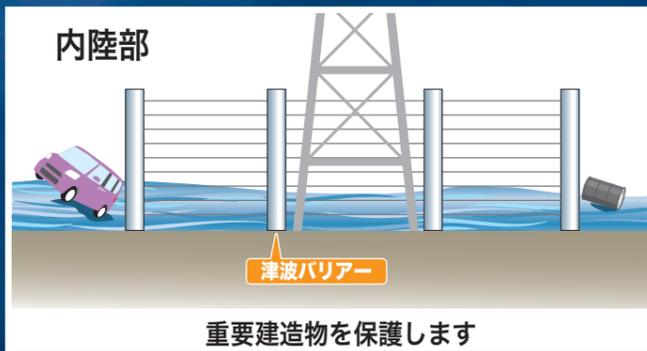
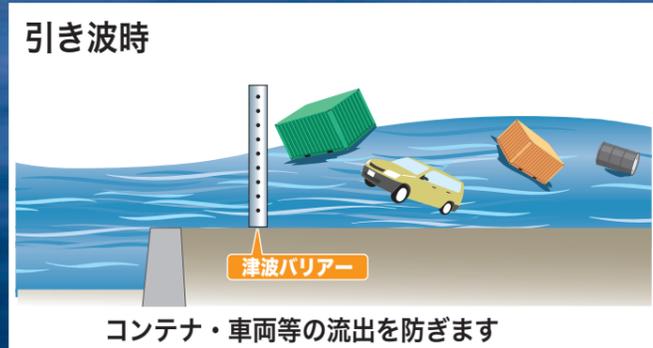
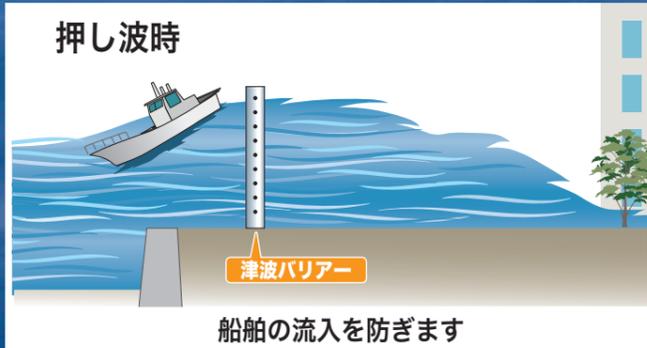
JFE 建材 株式会社

津波バリアー

津波バリアーは、津波・高潮による漂流物を捕捉することで、漂流物による二次的災害や、復旧・復興の妨げとなるがれきの散乱を大きく減らす技術です。



津波バリアーは沿岸技術研究センター発行「津波漂流物対策施設設計ガイドライン」に準拠した対策工です



特長

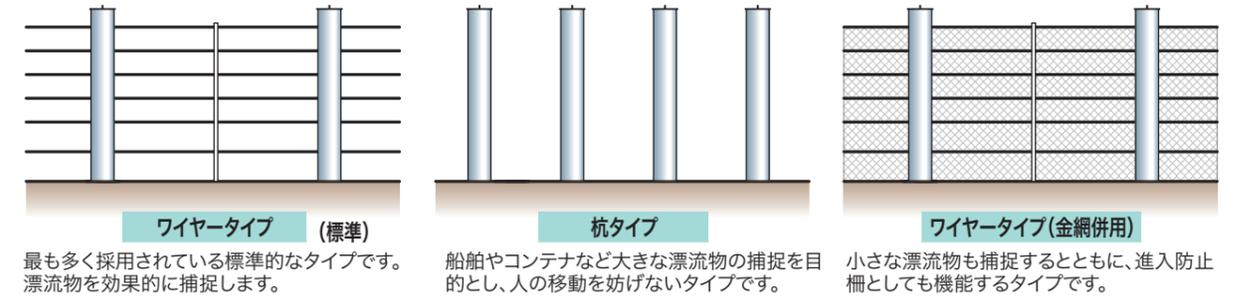
●ワイヤーロープの破断を防ぐ支柱貫通部

津波ではワイヤーロープにくり返し大きな力がかかります。そのためワイヤーロープの支柱貫通部はワイヤーロープの負担を低減することがとても重要です。



●条件に合わせて選べる捕捉部バリエーション

漂流物捕捉部は捕捉対象により下記の3種類から選ぶことができます。

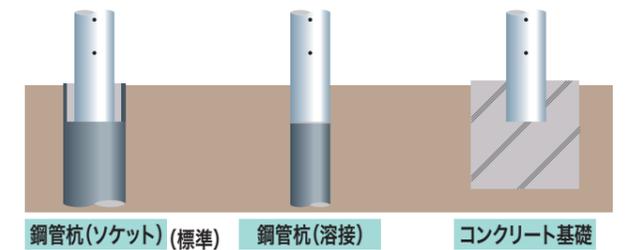


●耐久性・耐候性に優れたワイヤーロープを使用

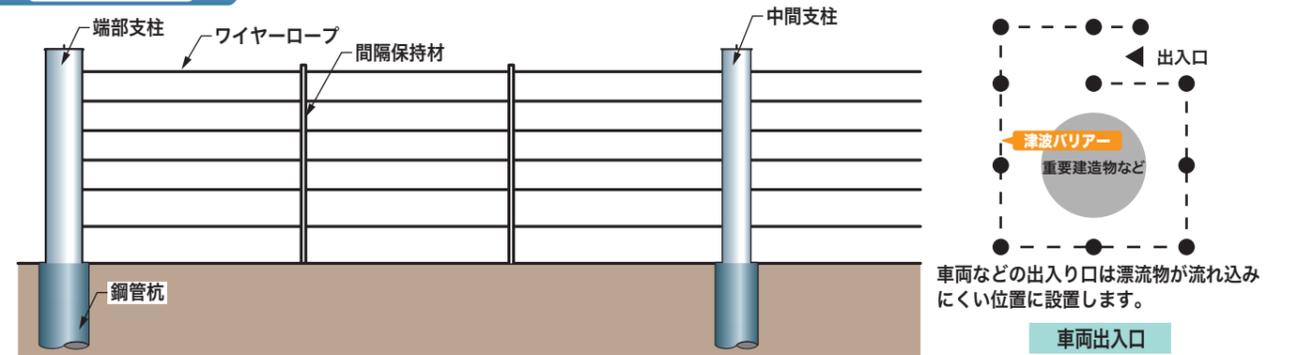
沿岸部の厳しい条件下で長期にわたり性能を維持するためにワイヤーロープは亜鉛めっきの上に変性飽和ポリエステル樹脂塗装を施し、設備の長寿命化を図りました。

●3種類の基礎構造に対応

支柱の基礎は、3タイプから選ぶことができます。



構成



津波バリアー 施工事例



背後地の防護・重要施設の防護



木材流出防止

津波漂流物から守ってくれるのね



標準仕様

部材名称	部材規格	表面処理
支柱	JIS G 3444「一般構造用鋼管」(STK400、STK490)	溶融亜鉛めっき+高耐食塗装
ワイヤーロープ	JIS G 3549「構造用ワイヤーロープ」(ST1470)	亜鉛めっき+変性飽和ポリエステル樹脂塗装
間隔保持材	JIS G 3101「一般構造用圧延鋼材」(SS400)	溶融亜鉛めっき+高耐食塗装

ガイドラインとして適用

- ・「津波漂流物対策施設設計ガイドライン」沿岸技術研究センター
- ・「漁港の津波漂流物対策施設設計ガイドライン(案)水産庁漁港整備部H28.12」
- ・防衛省設計基準・仕様1-12 R2.3「津波対策設計要領及び同解説」
- ・原子力規制委員会決定H25.6.19「耐津波設計に係る設工認審査ガイド」

高潮・津波バリアー研究会

当社は高潮・津波バリアー研究会に属しています。
高潮・津波バリアー研究会は平成18年に発足し、港湾土木・鋼構造等の専門家らによって漂流物対策技術を研究している組織です。